

# 第1回市議会定例会

# 平成16年度当初予算などを可決

# 市長の市政方針

# かすがい

市議会だより

## 主な内容

- 第1回定例会 ..... 2~3P
- 代表質問 ..... 4~5P
- 一般質問 ..... 6~8P
- 請願審議など ..... 8P

KASUGAI CITY COUNCIL

2004.5

第 28 号

市議会だよりは、環境保護のため再生紙を使用しています。

朝宮公園

# 平成16年度予算など45件を可決・同意

## 平成16年 第1回定例会

平成16年第1回定例会は、2月24日から3月15日までの21日間の会期で開催しました。

開会日の2月24日は平成16年度の市長の市政方針説明があり、2月26・27日の両日に5会派による代表質問が行われ、市長よりそれぞれ答弁がありました。

定例会には、補正予算6件、当初予算14件、条例21件、一般議案2件、議員提出議案1件、人事案件1件が提出され、原案のとおり可決、同意しました。

また請願1件については、不採択となりました。

なお一般質問は、3月11日に14名の議員が市政の課題について、当局の考え方をたずねました。

### 補正予算

総額15億2406万5000円の補正を可決しました。内訳は、一般会計補正額4億1137万7000円、特別会計では国民健康保険事業補正額2億700万円、老人保健医療事業補正額6億4165万円、介護保険事業補正額1億9403万8000円です。その主な内容は一般会計では国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計に繰出金の補正をしました。

### 当初予算

また市道用地購入費に1億8354万9000円、中央本線連続立体交差事業に5000万円の補正をしました。勝川駅周辺総合整備事業特別会計及び公共下水道事業特別会計については、繰越明許費の補正をしました。

総額1666億3395万9000円の平成16年度当初予算を可決しました。一般会計は、

805億190万円の前年度比8.0%増ですが、市債の借り換え分を含むため実質同10%減の737億8000万円となりました。

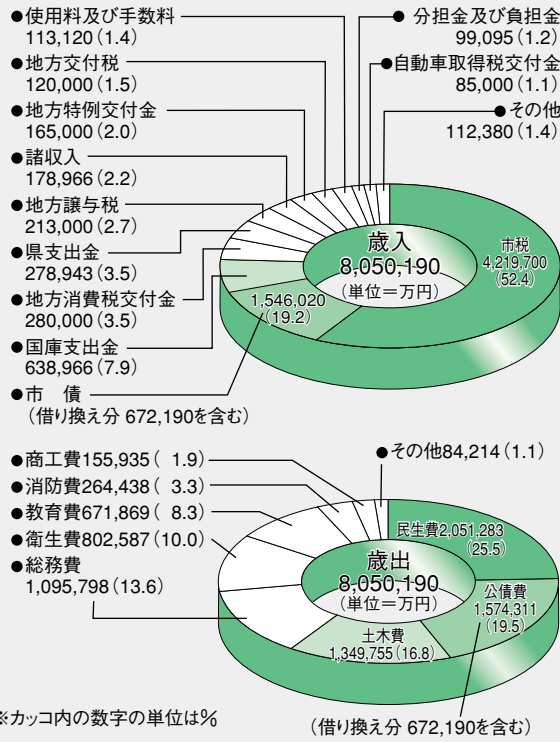
一般会計の歳入では、市税が421億9700万円の前年度比0.1

%増となりました。個人市民税は同5.2%減、法人市民税は同42.3%増、固定資産税は同0.6%減となりました。地方交付税は政府の三位一体の改革で同47.8%減の12億円、使用料手数料は利用料金の組み換えで同33.9%増、国庫支出金は同6.9%増となりました。

歳出は、総務費が行財政改革の事業見直しで前年度比7.0%減、民生費が児童手当の拡充等で同5.9%増となりました。主な事業は、行政評価システムの外部評価導入、障害者外出支援、民間木造住宅耐震診断などです。

特別会計の合計額は、642億7770万3000円の前年度比4.6%増、病院・水道の両企業会計は218億5435万6000円

## 平成16年度春日井市一般会計当初予算



### 条例

で同3.7%減となりました。

▽手数料条例の一部を改正する条例  
母子家庭等日常生活支援事業における家庭生活支援員の派遣手数料など4件の手数料を新たに設けるものです。

▽職員定数条例の一部を改正する条例  
市長の事務部局、水道事業の事務部局及び教育委員会の事務部局の職員の定数を、合計55人削減するものです。

▽特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
特別職報酬等審議会の答申に基づき、市長等の特別職の職員の給料月額を引き下げるものとする。

▽市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
市民文化センターを中央公民館に統合するため、規定の整備をするものです。

▽春見会館の設置および管理に関する条例を廃止する条例  
春見会館を廃止するものです。

▽国民健康保険条例の一部を改正する条例  
基礎課税額及び介護納付金課税額の課税限度額を引き上げるものです。

# 第 1 回 定 例 会

## ◇ 上程議案と審議結果 ◇

### ◎補正予算……………6件

平成15年度一般会計補正予算……………	原案可決	(賛成多数)
平成15年度国民健康保険事業特別会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度老人保健医療事業特別会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度介護保険事業特別会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)
平成15年度公共下水道事業特別会計補正予算……………	原案可決	(全会一致)

### ◎当初予算……………14件

平成16年度一般会計予算……………	原案可決	(賛成多数)
平成16年度交通災害等共済事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度公共用地先行取得事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度国民健康保険事業特別会計予算……………	原案可決	(賛成多数)
平成16年度老人保健医療事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度介護保険事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度介護サービス事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度民家防音事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度潮見坂平和公園事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度春日井郡都市計画松河戸土地区画整理事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計予算……………	原案可決	(賛成多数)
平成16年度公共下水道事業特別会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度春日井市民病院事業会計予算……………	原案可決	(全会一致)
平成16年度水道事業会計予算……………	原案可決	(全会一致)

### ◎条 例……………21件

事務分掌条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
行政手続条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
手数料条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
職員定数条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(賛成多数)
職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
常勤の監査委員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
職員退職手当支給条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
情報公開条例及び個人情報保護条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
市税条例等の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
土地改良区経費の徴収条例を廃止する条例……………	原案可決	(全会一致)
火災予防条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
私立幼稚園就園奨励費の補助に関する条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(賛成多数)
市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
春見会館の設置および管理に関する条例を廃止する条例……………	原案可決	(全会一致)
国民健康保険税条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(賛成多数)
道路占用料条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
児童遊園の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
市営住宅条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)

### ◎一般議案……………2件

市道路線の認定……………	原案可決	(全会一致)
高蔵寺浄化センター汚泥処理棟建設工事の委託協定の変更……………	原案可決	(全会一致)

### ◎議員提出議案……………1件

議会政務調査費交付条例の一部を改正する条例……………	原案可決	(全会一致)
----------------------------	------	--------

### ◎人事案件……………1件

固定資産評価審査委員会委員の選任の同意……………	同 意	(全会一致)
--------------------------	-----	--------

## 一般議案

課税額については、基礎分のうち所得割額は引き下げ、均等割額及び平等割額は引き上げるものです。  
介護分は、均等割額、平等割額とも引き上げるものです。  
▽その他15件の条例について規定を整備するものです。

## 議員提出議案

定例会で議員提出議案1件を

▽市道路線の認定  
道路法の規定に基づき、2路線を認定するものです。  
▽高蔵寺浄化センター汚泥処理棟建設工事の委託協定の変更  
当初の協定金額より8億2200万円を減額するものです。

## 人事案件

審議し、可決しました。  
▽議会政務調査費交付条例の一部を改正する条例  
議員の任期満了となる月には、政務調査費を交付しないとするものです。  
固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、長井 侃氏（たけな）の選任に同意しました。

## 選挙

選挙管理委員会委員に津田信夫氏、三輪昌夫氏、加藤俊邦氏、浅井栄子氏が指名推選により当選されました。また同補充員に長江 修氏、水野弘夫氏、吉田しづ代氏、岡田正美氏が指名推選により当選されました。



# 市政方針に対し見解を求める

各会派の代表者が2月26日、27日の両日にわたり、市長の市政方針に対し、代表して質問を行いました。

(各会派の質問と市長の答弁を、要旨で掲載しています。)

## 自民クラブ

質問者 長縄 代蔵

### 行政評価システムの推進について

【質問】16年度から外部評価を導入する方針とのことであるが、これまでの評価結果を着実に実行していくことも重要と考える。これまでの評価結果に対する取り組み状況は、交通災害等共済事業については、2回も連続して廃止の方向が打ち出されている現状を踏まえ、今後どのように対応していくのかを問う。

【答弁】評価結果に対する取り組み状況は、15年度までに既に実行しているものが19件、16年度中に実行する予定のものが40件となっております。交通災害等共済事業は、平成16年度は現行どおり事業を実施してまいりますが、十分な周知期間を確保した上で、平成17年度から廃止する予定であります。

### 市民病院における医療安全確保の徹底について

【質問】地域住民の多様化する医療ニーズや医学の進歩により、

他の医療機関で対応が困難な救急医療、高度医療を積極的に推進されていると思いますが、医療事故はあってはならないことです。医療安全管理室における医療事故等の未然防止及び医療安全確保の具体的な対応について問う。

【答弁】医療安全管理室が事務局となる安全管理委員会の活動が、病院全体に有効に効果を発揮するよう、各部門に配置したリスクマネージャーとの連携をさらに強化します。また、診療過程において、不安などを持たれる方に対して十分な説明を行うとともに、医療相談窓口を一層活性化してまいります。

## 市民連合

質問者 前川 銃一

### わが市の財政状況と今後の対応について

【質問】最大の財源の市税収入が減少し、地方債の残高は合計1800億円を超え、基金が底をつく未曾有の危機に直面しています。財源の確保はもとより、経費の削減も視野に入れ、健全化に向けた改革の方向性を市民

に示すことが必要です。財政の健全化に向け、現状の問題点と今後の対応を問う。

【答弁】伸び悩む税収に加え、三位一体の改革による影響から財源の確保が非常に困難な状況にあります。平成16年度から新たに取り組む第4次行政改革、行政評価の外部評価の導入などによる施策の見直し、公共事業の優先順位の選択、経常経費の節減など、常に都市経営の観点に立ち、コスト意識を持つて業務を遂行してまいります。

### 徹底した変革の第4次行政改革大綱策定の考え方について

【質問】わが市が魅力あふれる施策を実践するには、大胆に徹底した行政の改革を実行することが不可欠です。目標を市民に示し、各事業施策の経費、給与水準、職員体制などの数値目標を定め、目標達成には、どれだけの改善が必要かを決めなければなりません。第4次行政改革大綱策定の考え方を問う。

【答弁】財政の健全化、人材の育成、行政運営システムの見直し等を見据え、引き続き第4次

行政改革大綱の策定に取り組んでまいります。第3次行政改革で目標数値を設定しましたが、第4次行政改革においても、数値化できるものはできるだけ設定していく方向で取り組んでまいります。

## 公明党

質問者 蟹江 光正

### 電子申請、届出システムについて

【質問】インターネットを利用し各種申請や届出ができる電子申請、届出システムを開発するとの実施計画であるが、市民の情報リテラシーを考えると、パソコンだけでなく、普及が進んでいる携帯電話からでも利用できるようにシステム設計を推進できないかを問う。高齢者にも利用しやすいと思う。

【答弁】平成16年度から窓口サービスの一環として、電子申請・届出を順次導入していく計画であり、現在システム開発を進めています。携帯電話については、公共施設予約システムなど、個人認証を必要としないものへの利用を考えています。

## 保育園、小中学校の 防犯対策について

【質問】昨年12月には京都、宇治小学校に男が侵入し、2人が傷を負った事件が発生した。

小学校への侵入事件は、昨年全国各地でも起こっており、本来最も安全でなければならぬ学園に危機が迫っていると言わざるを得ない。全校生徒にホイッスルとか防犯ブザーを支給するとか、対策について問う。

【答弁】保育園、小中学校の防犯対策については、総合学習を活用した安全啓発、安全・安心マップの作成などを行っており、今後も精力的に取り組んでまいります。さらに、教師等への防犯ブザーの配付、小学校新1年生にホイッスルの配付、門扉の施錠など必要な対策を講じてまいります。

## 平成クラブ

質問者 安藤 鉄爾

## JR春日井駅自由通路 について

【質問】地域環境の変化によって、春日井駅周辺は高層マンション

等が多く、駅南北住民には不便である。春日井市百年の計を考えると構内の自由通路だけで周辺の問題解決にならない。連続立体交差事業を市中心駅の東に延長を求める。駅南地区は当面市内バスの運行で利便性の向上を計りたい。

【答弁】春日井駅周辺の連続立体交差事業は、駅周辺の状況から容易ではありません。自由通路については、これまでの基盤整備時には、交通量の見込みや人の流れなどから、自由通路の必要性が特段議論されなかったものであり、今後は現状を踏まえ、この事業化に向け、調査研究してまいります。バス輸送については、別に調査研究していくべき問題と考えます。

## 雨水流出抑制について

【質問】春日井市は各地で区画整理事業が実施されたことで、遊水保水能力が低下し、公共施設でその対応がとられようとしているが、根本的には庄内川經由で伊勢湾に出さなければならぬ。地蔵川のV字形断面をU字形にするなど、容量増大を計

らなければ、宅地化による雨水流出は困難と思われるがどうか。

【答弁】雨水の流出抑制については、新川流域全体の問題として取り組まなければなりません。そのため、学校や公園などの公共施設を利用した雨水の貯留施設整備に努めています。

地蔵川をV字形断面からU字形断面への提案については、河川管理者と協議していく必要があります。

## 日本共産党春日井市議会議員団

質問者 宮地 隆

## 自衛隊のイラク派兵について

【質問】自衛隊の小牧基地からC130H輸送機と部隊がイラクへ派兵されています。国を相手に自衛隊のイラク派兵は憲法9条違反として、今後の派兵の差し止めなどを求める訴訟が起されるなど、国論を二分する論争になっている。問題は、小牧基地に関することです。反対の意思表示をする考えを問う。

【答弁】このことは大変重要な問題と認識していますが、人道

復興支援活動のために自衛隊をイラクへ派遣すること自体は国政の問題であると認識しています。今後とも、国において慎重に判断されることが望ましいと思っております。

## NPOの協働 について

【質問】「さすがにNPO博04」に出かけ、市内のNPO法人やボランティア団体の活動について、いろいろ見聞きました。

NPOは広く市民に自らの情報を公開し、市民の信頼を得、市民に育てられるべきものと言われます。NPO法人等との協働をどのように作っていくかと考えているのかお尋ねします。

【答弁】今後のまちづくりには、行政、市民、NPO団体等との協働による取り組みが極めて重要と考えています。

NPO団体の活動内容も多岐にわたっていますので、多方面にわたる協働のあり方を分析しながら取り組んでまいります。



一般質問

# 市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、14名の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり28項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

## 地域に開かれた学校づくりのための余裕教室の活用について

質問者 丹羽 一正

【質問】余裕教室は、地域に開かれた安全・安心な学校づくり、新かすがいユースプランの施策の実施、地域コミュニティの活動拠点、高齢者への場の提供、地域防災活動の拠点と活用が考えられます。子どもからお年寄りまでが集い、交流ができるよう開放していただきたい。

【答弁】余裕教室は、すでに生涯学習室や子どもの家などに活用しています。今後も地域の子どもたちのために役立つ施設として、また、地域の学習の場やコミュニティの拠点としても活用したいと考えており、可能な限り地域の方々の自主的な管理運営による開放を考えています。

## 大規模災害発生直後の行政と地域の連携について

質問者 水谷 忠成

【質問】地震災害に備え、町内会・自治会が会長を先頭に防災や災害対策が、独自に策定できるように、行政指導ができないか。市民の自治会への加入率が低いので、加入の促進と災害弱者

(高齢者・障害者等)を災害から救うため、地域への名前の開示を前提とした施策について問う。

【答弁】地域の防災訓練やリーダー研修会等を更に発展させていくとともに、指導者の育成に努めます。災害時は地域での助け合いが必要であり、自治会加入を働きかけてまいります。災害時に手助けを必要とする方を把握しており、現在、情報開示等について確認を進めています。

## 子供たちの安全を守る防犯対策について

質問者 山際 喜義

【質問】子供たちの安全を守るために防犯ブザーの配付と学校の防犯対策の強化を。門扉のない出入口には、門扉の設置か防犯カメラの設置を。侵入された場合の連絡と防犯体制、そして避難・誘導体制は。自分の身を守るためにCAP・子供への暴力防止講座の開設を問う。

【答弁】不審者に対する即応性から教師への防犯ブザーの配付と小学校新1年生に防犯用ホイッスルを配付いたします。門扉のない学校については、門扉の設置を進めてまいります。対処

方法や心構えについて、CAPなどを参考に、学校防犯マニュアルを見直してまいります。

## 名古屋空港について

質問者 田中 康則

【質問】空港買上げ跡地の対応状況と今後の対応方針については、現状どおり無償で使用できるよう、また未利用地については、長年、航空機騒音に悩まされてきた地元住民の思いを受け止め、その要望に沿って売却するよう、国に対して強く要請することについて問う。

【答弁】移転補償跡地を借り受け、市が公園等に整備した土地については、引き続き無償で利用できるよう、また、未利用地の売却にあたっては、地元住民の要望に沿って行うよう要請してまいります。今後とも国と十分に協議をしてまいります。

## 光触媒による殺菌及び脱臭処理について

質問者 伊藤 隆司

【質問】光触媒には強力な殺菌と消臭力があり、アトピーにも効果があります。広く生活汎用

素材としてタオル、シーツ、カーテンやタイル等の内装材としても使用できるため、病院やデイサービス、老人ホーム、福祉の里、学校等の感染及び消臭対策に使用してはどうか。

【答弁】殺菌や脱臭効果のある光触媒について情報収集に努め、福祉の里等での活用について調査研究してまいります。

市民病院では光触媒を採用していませんが、光触媒により開発された製品の使用効果を調査する中で、現行の方法に固執せず、より有効な消毒方法を研究してまいります。

## 勝川地区の商業活性化について

質問者 長谷川健二

【質問】勝川商店街で毎月1回催されている弘法市は、地元商店主と近隣から参加者を募り、色とりどりのテントを使用して「にぎわいのある弘法市」を創出しています。中心市街地として中小小売商業高度化事業構想に基づいた活動から、商業を活性化するための方策を問う。

【答弁】弘法市については、勝川地区の活性化につながるもの

であり、市としても支援しています。再開発事業の進展に伴い大きな役割が期待される同構想のTMOのあり方については、勝川駅周辺まちづくり協議会で住民主導の研究活動と協働して、必要な検討を進めてまいります。

### 指定管理者制度について

質問者 中藤 幸子

【質問】昨年の地方自治法の改正により、公の施設の管理を民間企業や社会福祉法人、NPO法人、法人格を持たない団体等が担える「指定管理者制度」が導入できることとなった。住民ニーズにあわせた質の高いサービスの提供や経費の節減が可能であるが、どう取り組む予定か。

【答弁】公の施設の管理は、かすがい市民文化財団を始めとした外郭団体や区町内会、老人クラブ連合会等に委託しています。指定管理者制度の導入に伴い、新規施設は平成16年度中に、既存施設は職員の処遇等の問題もあるため、平成17年度末までに方針を検討してまいります。

### 農林業いきいき協働事業について

質問者 石原 名子

【質問】農林業における人手不足、高齢化による担い手不足、農林産物の価格の低迷に伴う耕作放棄地の増大や荒廃といった問題を解決し活性化させていく農業支援ボランティアの育成、農家の方の現状を調査し、ニーズに合った支援推進について問う。また遊休農地の活用も問う。

【答弁】農作業の従事者が少なくなっている状況を踏まえ、農業応援ボランティア育成事業の適用が可能かどうか、農協等と調整してまいります。

また、今後も市民農園の整備を継続するとともに、遊休農地の有効活用について検討してまいります。

### 総合型地域スポーツクラブについて

質問者 諸戸 護子

【質問】スポーツ人口の増加、高齢者や子どもたちの体力向上、希薄化されている地域住民のコミュニケーションを深める目的を持つ、公共スポーツ施設、学校体育館などを拠点とした、誰

でもどこでも好きなスポーツを楽しむ「総合型地域スポーツクラブ」の育成を望む。

【答弁】総合型地域スポーツクラブは、地域の誰もが、それぞれのレベルに応じて活動する自主的な組織であり、スポーツ団体の協力、指導者、運営管理者や活動拠点の整備などの環境整備が必要であり、関係団体との連携の強化や情報収集に努めてまいります。

### 夜盗虫捕獲対策などの農業問題について

質問者 伊藤 裕規

【質問】農作物や家庭の作物に被害を与える夜盗虫（よとうむし）を農薬を使わず、雌のフェロモンで雄の成虫（蛾）を誘い込んで捕獲し、2〜3年で減らすフェロモントラップは、よく知られていないので、使用の指導や購入への助成などを求める。名古屋市は購入に助成が有る。

【答弁】野菜のヨトウムシ等による被害が、多くなってきています。これは、安全な農産物を供給するため減農薬に努めてきた結果と思われれます。フェロモントラップの設置に対する支援

については、市内の農家が実施する予定であり、その実施結果を十分に見極め判断してまいります。

### 就学援助制度について

質問者 宮地 隆

【質問】広報に年一回「子ども就学でお困りの家庭に給食費や学用品費などを援助」と掲載されるが、長引く不況の影響で援助の対象者は増え、制度を知らない、内容が分からない人もいます。制度利用の現状とその拡充の考え、制度内容の説明、窓口対応の改善について問う。

【答弁】援助の対象者は増加傾向にあり、15年度は小中学校で1050人程度の見込みです。制度の拡充については、国の基準に比べ、市単独で相当の助成をしているのでご理解ください。窓口の対応について配慮するとともに、入学式にチラシを配布するなど、制度のPRに努めてまいります。



### 松河戸産業廃棄物 処理施設設置許可に かかわる問題について

質問者 内藤 富江

【質問】名成産業が松河戸に産業廃棄物焼却施設設置許可を申請して以来、事業説明会が開催されてきたが、焼却炉の安全性、事業者の資質、申請書との食い違い等住民の不安を解消するに至っていない。これら未解決のまま答申が出ないよう、市としても再要望すべきではないか。

【答弁】現在、県廃棄物処理施設審査会議で審査中ですが、今までに市及び市議会から許可権者である県に対して、周辺住民の理解を得るための説明会の開催や厳正な審査の実施などを求める意見書や要望書を提出しています。今後も、このような方針で対応してまいります。

### 産学官の連携について

質問者 後藤 正夫

【質問】産学連携の現状と今後の取り組みを問う。

大学に対する社会的要求は、産業界に限らず地域政策としての協働事業が求められる。地域

の活性化と大学の活用についての見解を問う。また市民、生涯学習から大学の施設、教員、学生の人材活用について問う。

【答弁】産学連携事業として、技術交流プラザ参加企業と中部大学との共同研究活動に助成しています。大学と商店街との連携によるまちづくりへの支援を充実してまいります。また、近隣大学の協力により、熟年大学や地域連携講座等への講師派遣など、今後も各大学との連携を密にし、共同で各種講座を開催してまいります。

### 商工業振興について

質問者 内田 謙

【質問】中小・零細業者は、仕事の減少、単価の切り下げなどで苦しんでいる。

そこで、市が補助金を出している住宅改修など生活密着型の工事については、要綱を設け、地元業者優先を明示し、地元業者への営業支援を積極的に取り組んでいく考えはないか。

【答弁】住宅改修等に係る補助制度においては、市内業者と限定はしていませんが、平成15年

度実績では3分の2を市内業者が占めており、現状でも商工業振興に貢献していると考えておりますが、機会を捉えて市内業者への発注を更にPRしてまいります。

## 掲載以外の質問項目

- 名古屋空港の都市型総合空港への支援について
- 小児救急電話相談の実施について
- 放置自動車対策について
- 青少年健全育成について
- 健康管理について
- クリーンセンターから出る溶融スラグについて
- 植物性てんぷら油の再生燃料化について
- 行政の説明責任について
- 地震対策の強化・充実について
- 都市計画について
- 未利用の公有地の有効活用について
- 地震対策について
- 平和行政について
- 環境対策について

### 請願審議

第1回定例会に、1件の請願が提出され、委員会に付託し、審査しました。

その後、本会議で委員長長の審査結果報告後、採決し、結果は次のとおりです。

▼国民健康保険税の値上げ中止を求める請願………不採択

### 編集後記

厳しい財政状況にあります中での平成16年度予算編成でありましたが、議会で審議、可決されました。

市議会といたしましても、時代の流れを的確に見極め、市民の代表としての責務と、役割を自覚し、皆様の期待に応えるよう決意を新たに議会活動に積極的に取り組んでまいります。

昨年の5月から5回にわたる「市議会だより」を発行してまいりました。これも事務局職員の協力のためであります。

次号からは、新編集委員にバトンタッチしていきます。

編集委員一同